

## 久慈市立長内小学校

2014年 12月 28日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)

北林 雅洋(香川大学教育学部)

### 【文献】

(1)「小中学校で避難路見直し進む 最短距離、階段整備も」岩手日報(2011年11月1日)より

### 【場所】

久慈湾から約2km、長内川から約80mの位置にある。

住所岩手県久慈市長内町第25地割41



### 【東日本大震災による被害】

津波により校庭が浸水。

### 【震災当日の様子】

震災当時、避難場所を校舎3階に設定していた。

震災後、避難場所を高台の下長内公民館に変更した。同公民館は道のり約750m離れているが、これまでの避難訓練では全校児童が10分以内に避難できた。(1)

### 【調査して言えること】

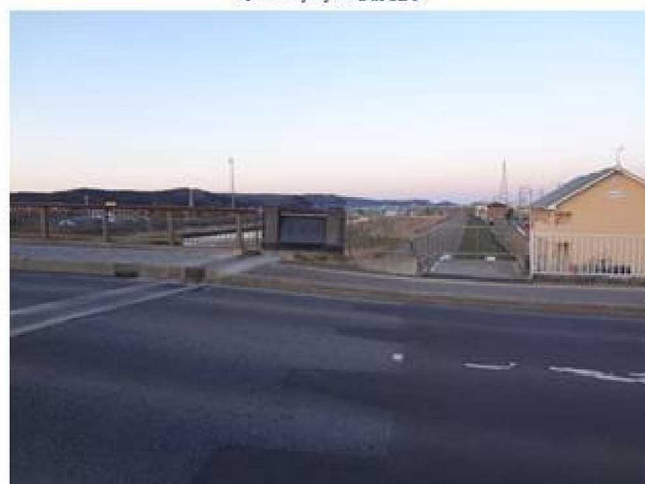
長内小学校(写真①)は、長内川のすぐ脇にあり(写真②)、川の堤防を越える高さの津波が押し寄せると大きな被害が予想される。震災当時、津波は川も遡上したが、港から市街地を遡上した津波が校庭に達したと思われる(写真③)。すぐ近くに避難できる高台がないため(写真④)、迅速な避難行動が必要といえる。



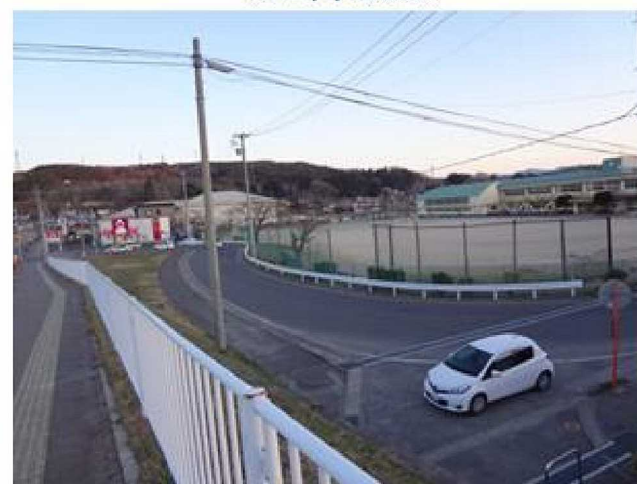
写真① 長内小学校の校舎と校庭、新長内橋の南側から  
(2014/4/12撮影)



写真② 新長内橋南側から長内川上流向き  
(2014/4/12撮影)



写真③ 新長内橋南側から長内川下流向き  
(2014/4/12撮影)



写真④ 新長内橋南側から南向き(2014/4/12撮影)